



香川 正雄氏

#### “城南分室への転勤”

広域化に伴い「中央農業改良普及所城南分室」と看板を変えた旧城南地区へ異動となった。風の噂では、「西多摩普及所へ…」ということだったが、蓋を開けてみると、意外な結果だった。それだけ囁きされていたということだし、逆に、動かし易い奴だと見られたのかも判らない。

〈島、大城、野村〉の4人体制でスタートするが、3ヵ月位で野村氏は異動となり欠員、実質3名となる。

世田谷区、目黒区、大田区、杉並区、中野区の5区と砧、千歳、世田谷目黒、大田区、大森、城西、杉中の7農協を受け持つことになる。

環七、環八、青梅、甲州、京浜第1、第2、246号等の主要道路が通る日本一交通量の多い住宅密集地で、点在する農家を覚え、道路の道順を覚えることだけでも、大変な地区だった。しかも、果菜（トマト、キュウリ等）根菜（人参、大根等）葉菜（白菜、小松菜等）果樹（ぶどう、柿等）植木類などつまもの以外の農作物全部あるという地域だった。

ビニール栽培発祥の地でもあるし、在来の品種改良種も豊富な所で、有名な農家が軒並みにいた感じがした。ベテランの島先輩と、江東から初めて異動してきたこちらもベテランの大城先輩のもとでのスタートで、かなり恵まれた環境であった。

農家も農協も、広域化など気にしておらず、従来通りすぐ活動をはじめることができたのも幸이었다。

★〈島、大城、野村〉とは、島秀夫氏(普及員在職25年～58年)、大城芳彦氏(25年～62年)、野村健作氏(42年～44年)

★農業協同組合は、昭和20年8月敗戦の12月に連合軍司令部から農民解放指令が発せられ、戦前の農業会を民主的に改組する「農業団体法改正案」が国会に上程された。昭和22年12月に農業協同組合法が制定された。

★5区7農協は、城南には大田区、世田谷、目黒区、杉並区、中野区で、農協は当初、大田区、大森、世田谷、玉川全円、深沢新町、松沢、目黒、砧、千歳、城西、杉並中野(杉中)が、23年5月設立された。

その中で、世田谷、玉川全円、深沢新町、松沢、目黒が、27年5月に合併して世田谷目黒となり、城南は7農協となる。

★ビニール栽培発祥の地は、等々力の大平信弥さんが受け入れた。玉川全円農協の組合長

★大城先輩は、大城芳彦氏で、当ブログで紹介している。